

～地域の希望となれ、未来となれ、光となれ！！～
令和3年度 校内SPH成果発表会

1月15日(土)、令和3年度の校内SPH研究成果発表会が開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県高校教育課の方々を除き、急遽オンラインでのご参加に切り換えていただきました。この発表会は、SPHで身に付ける11のスキル「TECH-Aスキル」全体の取り組みと、これらのスキルを総動員して生徒・学生がチャレンジした、高校3年生の「課題研究」と専攻科2年生の「創造研究」の成果を発表する場です。今年度はSPH事業5年間の最終年度になります。

まず、視聴覚室において、「SPH全体の取り組み」と題して、この5年間で積み重ねた「TECH-Aスキル」を深化、醸成する取り組みと、これを活用した成果が報告されました。本科からは、3年生が「地域産業を支える先進的技術者」を目指して取り組んだ「課題研究」が、専攻科からは、「地方創生を創造する先進的技術者」を目指して取り組んだ「創造研究」が紹介されました。



次に、「課題研究」の代表として本科・電気科3年生より「鉄道模型制御」、「創造工学」の代表として専攻科・創造工学科2年生より「CNC加工機の稼働率分析可視化システム」への取り組みが報告されました。共に、生徒・学生が主体性、創造力等を存分に発揮して課題に取り組んだ成果となっており、「TECH-Aスキル」が身に付いている様子がうかがえました。講評では、文部科学省の先生より、SPHでの様々



な取り組みを通じて得た経験や学びによって自分が大きく成長していることを振り返り、今後さらに成長して行って欲しい、とのお話をいただきました。

その後、体育館に移動し、「課題研究」(本科代表7テーマ)と「創造研究」(専攻科代表1テーマ)の取り組み状況のポスターが展示され、各ブースでは学生が研究内容を発表しました。コロナ禍で全55テーマのポスター展示が行えなかったですが、代表者の発表の様子はオンラインで多くのご来賓にも生配信され、高い評価をいただくことができました。



発表会では、5年間のSPHの取り組みによる教育効果が実感できました。今後、さらに研鑽を積んで、地域の希望となれ、未来となれ、光となれ！！

ご来賓のお言葉(抜粋・要約)

- ・非常に高度な内容に取り組み、素晴らしいと感じた。
- ・試行錯誤の過程で学びが多かったことが分かった。
- ・SPHの内容や専攻科の取り組みが理解できた。
- ・限られた時間でしたが素晴らしいプレゼンでした。
- ・企業とのコラボは非常に良い取り組みと思う。